



城北小だより

夏休み直前号

さいたま市立城北小学校 令和4年7月20日

児童数 713名

048-757-5391 発行者 中村 篤

退屈だっていいじゃない

校長 中村 篤

盛夏の候、保護者・地域の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。本校ではおかげさまで、無事に1学期を終えることができました。皆様には、本校の教育活動へのご理解・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

いよいよ明日から子どもたちが待ちに待った夏休みです。すでに様々な計画や予定を立てているご家庭も多いことでしょう。しかし、まだ何も決まっていないというご家庭も少なくないと思います。予定のない子どもにとって「充実した夏休み」を過ごすことは難しいのかというと、必ずしもそうではありません。子どもから「暇だ、退屈だ、どこかへ連れて行って!」とせがまれると、親は「子どものために何かをしてあげなければ」と慌ててしまいますが、あえて「退屈を経験させる」ことも大切であると考えます。

ロンドンの児童心理学者リン・フライ氏は「親としての役割は、子どもたちが社会で活躍できるように準備をさせることです。大人になるということは、自分が楽しめる余暇の過ごし方を自分で見つけられること。もし、親が子どもの余暇を埋めてしまったら、子どもはそれを学ぶことができないでしょう。」「退屈しても問題はありません。退屈することで、子どもに何かしようというやる気生まれます。退屈は子どもを自立させる一つの方法です。」と述べています。また、夏休みのはじめに、子ども自身に「やりたいことリスト」を作らせることを提案しており、もし子どもが「退屈だ」と訴えた場合、親は「これが自分のやりたいことでしょうか?」とリストを示すとよいと言っています。

親子で接する時間の増える夏休みは、新しいことにチャレンジする絶好の機会です。ぜひ、お子様と一緒に「やりたいこと」を話し合っリリストアップしてみてください。そして、「退屈」な時間をうまく利用しながら、たくさんの方にチャレンジできるようお子様への助言や励ましをお願いいたします。

私事ですが、夏休み前には「今年こそは絶対に部屋の片付けをやる!」などと意気込むものの、毎年何もせずに終わってしまいます。夏休み最後の2~3日くらいになると、「何をやっていたんだろう、今日が夏休み前日だったらな...」と後悔することが恒例となっています。しかし、今年こそは、絶対にやり遂げられるよう頑張ります。

この夏休みが子どもたちにとって成長し、「充実した夏休み」となるよう願っています。そして、2学期に少したくましくなった子どもたちの姿が見られることを楽しみにしています。



悩みを相談できる相談窓口

学校生活のことや友達関係のことなど、様々な悩みを相談できます。悩みを聞いてもらうだけで、気持ちが軽くなることがあります。一人で悩まず、ぜひ相談してください。

さいたま市 24時間子どもSOS窓口 0120-0-78310 (毎日24時間)

その他 さいたま市には様々な相談窓口があります。

「相談窓口のご案内」<https://www.city.saitama.jp/002/001/016/001/p033924.html>

学校HPのトップページにもリンクバナーがありますので、そちらからもご覧いただけます。